OSSを読むススメ

なぜOSSを読むのか?

- ・コードを書いている時 「どういうふうに書くのが良いのだろうか?」と考えたことは無いでしょうか?
- 書けるんだが 本当にこの書きぶりでいいのだろうか と思った ことは無いでしょうか?
- 自社のプロダクトコードに参考になるコードが無い!?

そんな時こそ OSS を読もう!

OSSを読むことによって解決すること

- こういう時はどのようにして書いたら良いんだろうか?
- 一般的にはどのように実装するのだろうか?
- ・ なんか書けたけど もっとDryに書けるのではないだろうか?
- 自社のプロダクトに参考になるコードがない!? どうしよう......

OSS 最高



ちょっと待って!

Qiitaや Zenn の記事では駄目なの?

Qiita や Zenn の記事では駄目なの?

- 記事が書かれた 時期によって参考にすべきかどうか を考えないといけません
- アプリケーションは日々進化しているため、数年前の記事は もう使えないものになっているかもしれません
- ・OSSのコードは日々進化していて最新を追従していることが 圧倒的に多い
- ・ なんだかんだ言って 公式ドキュメントが最強 である

いい記事もいっぱいあるので

自分で取捨選択して

Qiitaや Zenn の記事も参考にしてね00

例えばこの人の記事は とても参考になります



自分が参考にする記事

- 1. 公式ドキュメント
- **2. OSS**
- 3. 英語の記事
- 4. Qiita, Zenn

皆さんは何を参考にしますか?

OSSの読み方

- 1つのプロジェクトだけでなく複数のプロジェクトを参考に する
- OSS同士で似たような書きぶりがあるのでそれを参考にする
- ・中身を理解しようとするのではなく 書きぶりを見る

なぜ書きぶりを見るの?

OSSを読んでいて自分はよくあることなんですが 読んでも理解 できないことがあります 🏠

これは完全に自分の実力不足もあるんですが処理をする時の前提条件などはOSSで把握するには時間がかかります.....

なので中身を理解しようとせずに 書きぶりに注力します!

なぜ書きぶりを見るの? 書きぶりを元にGoogleで検索することで理解が深まります

なんだこのメソッドは『



Google検索



おお!そんなものがあったのかい

みたいな気付きがよくありました! 中身を理解できる方は理解した上で読むと良いと思います!

実際にRailsのOSSを読んでみる

2022/04/25 時点の情報ですので古い可能性があります。

リポジトリ	Rails	Ruby	star
<u>forem</u>	7.0.2.3	3.0.2	18,982
<u>gitlabhq</u>	6.1.4.7	2.7.4	22,890
<u>huginn</u>	6.0.4.4	2.6.5	35,447
<u>postal</u>	5.2.6.2	2.6.9	11,542
<u>mastodon</u>	6.1.5	3.0.3	27,613
<u>discourse</u>	最新	2.7.2以上	33,541
<u>spree</u>	6.1 or 6.0 or 5.2	2.5 or 2.6 or 2.7 or 3.0	11,784

before_destroy を調べてみる

以前、ある機能改修でのことです 後輩に before_destroy を使用しましたと報告を受けました

ただ自分が before_destroy を使用したことがなかったのでこの Active Record **コールバック** は一体どういう時に使うべきなのだろうか……と思い調べてみました

単純に検索してみる

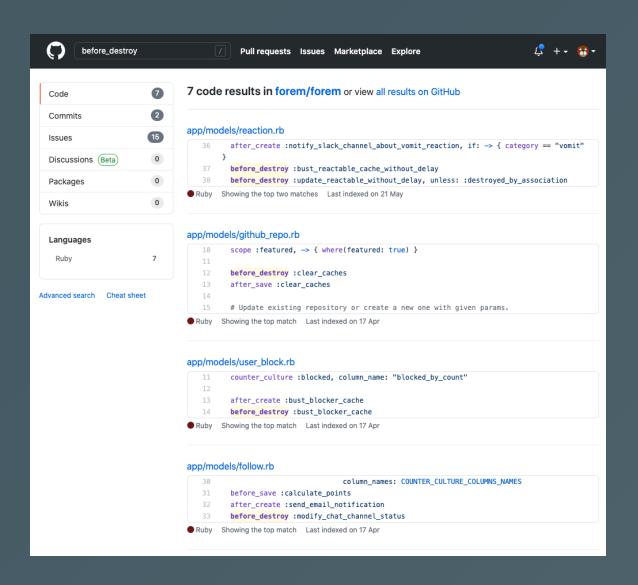
Googleで検索してみるとTOP には model の削除可否チェッ クが出てきています



foremで検索してみる

cache と名の付くメソッドを 実行していることが多いよう です

メソッド名から察するにデータの削除と一緒にキャッシュ に対して何かを行うようなことが多そうです



Google検索と比べてみましたが検索結果が全然違います

もしGoogleでのみ検索していた場合は削除可 否に使うのかと思ってしまってもおかしくない ですね

ここで問題が.....

本来なら複数の OSS から before_destory を検索したいと思いますよね

ただ GitHub の検索機能だとそれぞれの OSS から検索しないといけないためすごく非効率です……

そんなことでお困りのあなたに私が行っている検索方法を共有 しようと思います!

VS Code のワークスペース機能を使用して検索する

そもそもワークスペースとは? 公式ドキュメントには以下のように書かれています

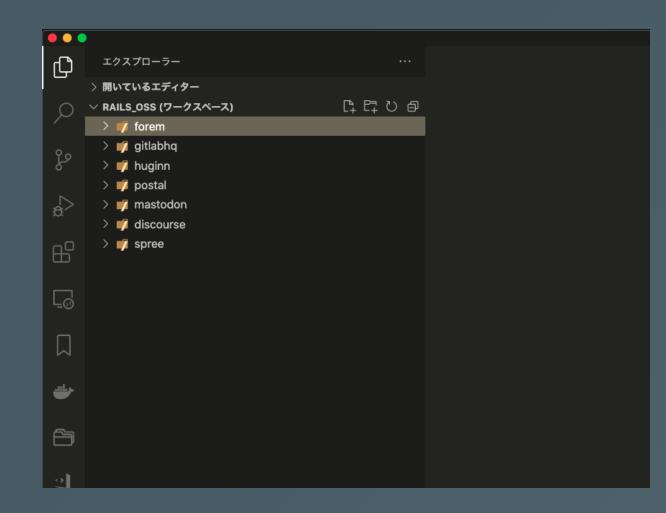
" A Visual Studio Code "workspace" is the collection of one or more folders that are opened in a VS Code window (instance). In most cases, you will have a single folder opened as the workspace but, depending on your development workflow, you can include more than one folder, using an advanced configuration called Multi-root workspaces.

出典: What is a VS Code "workspace"?

99

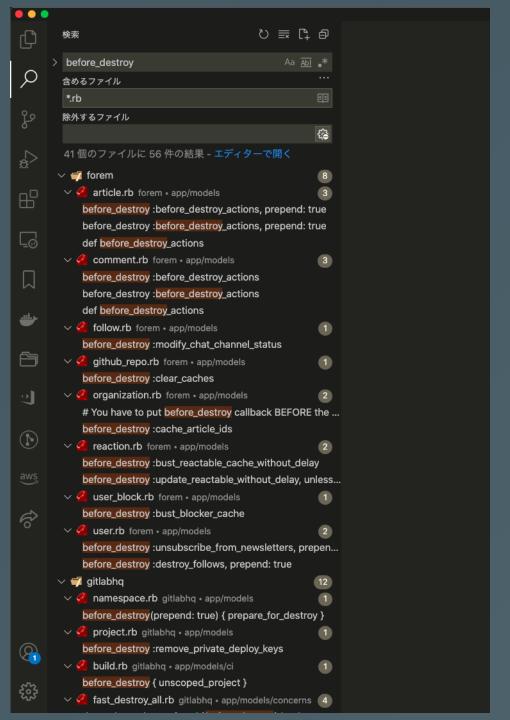
ウィンドウに複数のルート フォルダを開けるようにす る機能です

複数の OSS をワークスペースに追加すると以下のような感じになります



実際に before_destory を ワークスペースで検索して みると以下のようになりま す

複数の OSS から検索できる ようになりました! おめで とうございます!



今日の発表を終わります



うん!?ちょっと待って!



ローカルにそれぞれの OSS を git clone してきてそれをワークスペースに設定するのめんどくさくない?

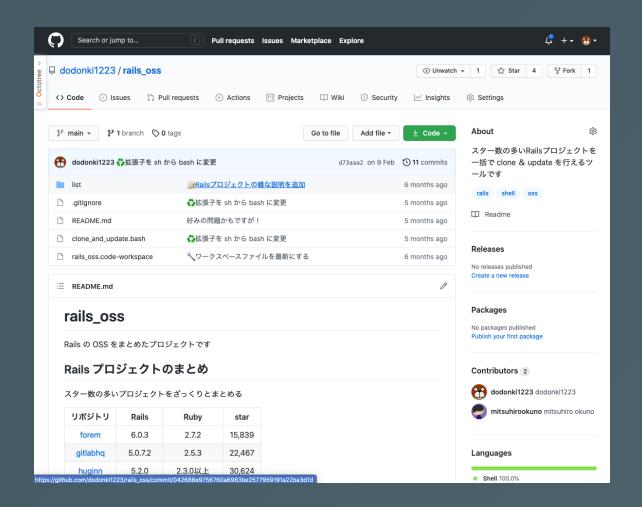
OSS が更新したらどうすりゃいいんや.....

そんなことを思ったそこのあなた! 大丈夫です! もっと簡単に取得できるように しましょう!

私が以前、簡単にOSSを clone & update できるツールを作成しました~

Rails に関しては <u>rails_oss</u> リポ ジトリを clone してきて

bash clone_and_update.bash を実行するだけで簡単にローカルに検索できる環境が出来上がります



リポジトリの clone と update が終わった後は oss.code-workspace ファイルを開き cmd + shift + f で検索したい文字を打てば検索できるようになります

このツールは設定された OSS を clone & update し自動でワークスペースファイルを作成するツールになります

動作させると以下のような感じで自動で clone と update が 行われるようになり ます

```
-bash
dodonki1223:~/project/rails oss (main)
$ bash clone and update.bash
forem clone skip...
forem update
Your configuration specifies to merge with the ref 'refs/heads/master'
from the remote, but no such ref was fetched.
gitlabhg clone skip...
gitlabhg update
Updating e5f18314034..0c922a0a151
Updating files: 100% (7109/7109), done.
Fast-forward
 .eslintrc.yml
                                                                             9 +-
 .gitignore
                                                                            1 +
 .gitlab/CODEOWNERS
                                                                            10 +-
 .gitlab/ci/build-images.gitlab-ci.yml
                                                                            43 +-
 .gitlab/ci/frontend.gitlab-ci.yml
                                                                            68 +-
 .gitlab/ci/global.gitlab-ci.yml
                                                                            49 +-
 .gitlab/ci/pages.gitlab-ci.yml
                                                                            2 +
 .gitlab/ci/rails.gitlab-ci.yml
                                                                            75 +-
 .gitlab/ci/reports.gitlab-ci.yml
                                                                            10 +-
 .gitlab/ci/review.gitlab-ci.yml
                                                                            70 +-
 .gitlab/ci/rules.gitlab-ci.yml
                                                                            92 +-
 .gitlab/issue templates/Design Sprint.md
                                                                            1 +
 .gitlab/issue templates/Feature Flag Removal.md
                                                                            28
 .gitlab/issue templates/Feature Flag Roll Out.md
                                                                            17 +
                                                                           116 +
 .gitlab/issue_templates/Geo Replicate a new Git repository type.md
 .gitlab/issue_templates/Geo Replicate a new blob type.md
                                                                           118 +
 .gitlab/issue templates/Security developer workflow.md
                                                                            5 +-
 .gitlab/issue templates/Snowplow event tracking.md
                                                                            2 +-
 .gitlab/merge_request_templates/Documentation.md
                                                                            69 +-
 .gitlab/merge request templates/Pipeline Configuration.md
                                                                            38 +
 .rubocop.yml
                                                                            6 +
 .rubocop_manual_todo.yml
                                                                           412 +-
 .rubocop todo.yml
                                                                            7 +-
 .stylelintrc
                                                                            1 +
 CHANGELOG. md
                                                                           746 +++
 GITALY SERVER VERSION
                                                                             2 +-
                                                                             2 +-
 GITLAB KAS VERSION
 GITLAB PAGES VERSION
                                                                             2 +-
 GITLAB SHELL VERSION
                                                                            2 +-
 Gemfile
                                                                            41 +-
 Gemfile.lock
                                                                           132 +-
LICENSE
                                                                            1 +
                                                                            9 +-
README.md
                                                                            2 +-
 app/assets/images/aws-cloud-formation.png
                                                                           Bin 0 -> 2545 bytes
 app/assets/images/cluster_app_logos/fluentd.png
                                                                                  80 → 0 bytes
 app/assets/images/mailers/members/issues.png
                                                                           Bin 0 → 316 bytes
 app/assets/images/mailers/members/merge-request-open.png
                                                                           Bin 0 -> 327 bytes
 app/assets/images/mailers/members/users.png
                                                                           Bin 0 → 371 bytes
 app/assets/javascripts/add_context_commits_modal/store/actions.js
                                                                            10 +
.../admin/application settings/setup metrics and profiling.js
                                                                             3 +
```

clone_and_update.bashが 何をやっているか説明していきます

```
#!/bin/bash
declare -a cloneList=($(cat ./list/ssh))
echo '{
        "folders": [' > oss.code-workspace
for ((i = 0; i < ${#cloneList[@]}; i++)) {</pre>
  project_name=$(echo "${cloneList[i]}" | cut -d '/' -f2 | sed -e 's/.git//g')
  project_dir="./${project_name}"
  echo '
                        "path": "'${project_name}'"
                },' >> oss.code-workspace
 if [ ! -d $project_dir ]; then
    echo $project_name clone start...
    git clone ${cloneList[i]}
  else
    echo $project_name clone skip...
    echo $project_name update
   cd $project_name
   git fetch
   git pull
   cd ../
  fi
echo '],
        "settings": {}
}' >> oss.code-workspace
```

clone & update するリポジトリのリストを取得する

./list/ssh にリポジトリのリストが書かれており以下のコマンドでリストを取得します

```
declare -a cloneList=($(cat ./list/ssh))
```

./list/ssh には以下のようにリストを設定しています

```
git@github.com:forem/forem.git
git@github.com:gitlabhq/gitlabhq.git
git@github.com:huginn/huginn.git
git@github.com:postalhq/postal.git
git@github.com:tootsuite/mastodon.git
git@github.com:discourse/discourse.git
git@github.com:spree/spree.git
```

clone & update を行う

./list/ssh で取得したリスト分、繰り返し処理を行います フォルダが存在してなければ clone を行い、フォルダが存在していれ ば update を行います

```
# ./list/ssh に追加したリポジトリ分繰り返す
for ((i = 0; i < ${#cloneList[@]}; i++)) {</pre>
 # git@github.com:oss_name/oss_name.git の形式からプロジェクト名を取得
 project_name=$(echo "${cloneList[i]}" | cut -d '/' -f2 | sed -e 's/.git//g')
 # プロジェクトのフォルダパスを取得
 project_dir="./${project_name}"
 # プロジェクトのディレクトリが存在するか
 if [ ! -d $project_dir ]; then
   # プロジェクトが存在しない場合は git clone を実行する
   echo $project_name clone start...
   git clone ${cloneList[i]}
   # プロジェクトが存在している場合は git fetch & git pull を行う
   echo $project_name clone skip...
   echo $project_name update
   cd $project_name
   git fetch
   git pull
   cd ../
```

ワークスペースファイルを自動生成する

./list/ssh ファイルに記載されている git clone 用の URL からワークス ペースのファイルを自動生成します

```
echo
        "folders": [' > oss.code-workspace
for ((i = 0; i < ${#cloneList[@]}; i++)) {</pre>
  echo
                         "path": "'${project_name}'"
                },' >> oss.code-workspace
        "settings": {}
  >> oss.code-workspace
```

新しく OSS を追加する

新しく OSS を追加したい場合は ./list/ssh ファイルに git clone の URL を追加 します

./list/ssh ファイルに追加するだけでワークスペースファイルも 更新されるので特に気にする必要はありません

素敵なOSSライフを! 今日の発表を終わります